

「おとうさんといっしょに」

親子サッカー教室のあと、引き続き給食参観の準備に取りかわる5歳児の子どもたち。

サッカー、おもしろかったわ。

うん！お腹ペコペコ！

おかあさん、ここに座ろう！

手洗ってこよう。

おとうさん、こちらだよ！

うん、今行くよ。

Nちゃんが席に着いたときおとうさんの携帯電話が鳴りました。

はい、もしもし。…そうか…。

すぐに帰りたい様子のおとうさんでしたが…。

Nちゃん、お腹すいた？給食、食べていく？

うん！食べていく。

…わかったよ。

おいしいわ。

うん！おいしい。

ゆっくり食べていいよ。

楽しい会話を弾ませながら、Nちゃんは給食を完食。

急な用事にもかかわらず、いつもと変わらない姿でNちゃんが「食べ終えるまで」、温かく見守って下さったおとうさん。Nちゃんへの愛情が伝わってくるコマでした。

「かえるさん、おはよう」

涙顔で登所した2歳児のOくんを飼育箱に入っている大きなかえるが迎えてくれました。

Oくん、見て、見て。大きいかえるさんがいるよ。ほら！

5歳児のPくんは、かえるがよく見えるように飼育箱の向きを変えてくれました。

そばにいた大きい子たちはOくんの頭をなでてくれました。Oくんはかえるに興味しんしんです。

みんなありがとう。

ほくのかえる、見えていいよ。

かえるさん、また見に来るからね。Oくん、かえるさんにバイバイしようか？

うん。

気持ちが和んだOくんは、かえるに手を振り笑顔で部屋に戻る事が出来ました。

園庭に出たOくんは、シャベルを手にすると砂場で楽しそうにあそび始めました。

わうわう！

ア…。

大きいクラスの子どもの何気ないやさしさや身近な小動物との触れ合いが、Oくんの笑顔を取り戻すきっかけになったことを感じさせられました。